

第24期(令和4年11月～令和7年10月)

【運営理念】連携・変革・共創による地域経済の未来創生
～日本・世界で最も魅力的な地域創造への挑戦～

【基本方針】
● 新たな価値創造に立脚した課題解決により、企業と地域の持続的成長を支える
● 組織や分野の枠組みを越えて、環境変化に適応したイノベーションを起こし、地域経済の活力向上に繋げる
● 東三河経済圏の活性化と豊橋の産業発展が表裏一体との認識に立ち、事業運営に広域連携の牽引役としての視座を持つ

重点テーマ

物価高・コスト増克服

- コロナ禍の長期化に加え、国際情勢の緊迫化や原油・原材料・食品価格高、円安等による物価高騰により、地域中小企業は価格転嫁が進まず、厳しい経営環境下にある。
- 中小企業の労働分配率は約8割を占め、加えて防衛的措置として賃上げを余儀なくされている。持続可能な投資と賃上げには付加価値創出と価格転嫁が欠かせない。
- サプライチェーン全体での付加価値向上や取引適正化に資する「パートナーシップ構築宣言」の普及促進が必要。

産学官連携

- 地域のリソースを最大限に有効活用し、地域社会や企業活動においてイノベーションを起こし、課題解決を図るため、産学官が有機的に連携することが必要。
- とりわけ新規ビジネス創造やスタートアップ創出、革新的技術の社会実装には、人と人、技術と企業、課題と解決を繋ぎ、寄り添う、コーディネート機能が不可欠。
- 商工会議所自らがコーディネート役を担うほか、連携実現の仕組みづくりを行う。

事業承継・創業起業

- 地域経済の活力強化には、事業承継や創業起業を支え、魅力的な雇用の創出、産業集積の維持・発展が不可欠。
- 愛知県事業承継・引継ぎ支援センター 豊橋サテライトの設置以降、相談件数が大きく増加した。支援機関に寄せられる創業・起業の案件数も拡大傾向にある。
- 相談ニーズの一層の掘り起こしとともに、M&Aや創業者とのマッチングなど多様な事業承継への対応、伴走型によるきめ細かな創業・スタートアップ支援を展開する。

カーボンニュートラル

- 国際社会全体が、温室効果ガス排出ゼロに向けて急速な変化を始めており、国や地域、事業者、住民など、あらゆる主体に対し、それぞれの立場での具体的な取り組みが求められている。
- 地域企業が、地球温暖化抑制に貢献する脱炭素経営にいち早く乗り出し、事業基盤や競争力の強化を図り、持続的な成長へ繋げるため、必要性やメリット、実践手法を積極的に提示し、脱炭素化シフトを後押しする。

デジタルシフト・DX

- コロナ禍により、中小企業においても、テレワークやクラウドの活用が進んだ。その流れを加速させる、生産性向上や競争力強化を果たす分野へのIT導入が欠かせない。
- 人口減少など社会課題を解決し、暮らしやすさを実現するため、教育や医療、福祉などあらゆる分野にテクノロジーを活用し、地域社会全体のDXを進める必要性も。
- 企業支援や地域活性化に加え、商工会議所運営にも、デジタル技術を積極活用し、付加価値向上に努める。

地域づくり・まちづくり

- 多様な主体がコミットする「まちなか」の将来像を描き、具体的なアクションに落とし込む。
- 産業構造の変化や地域産業の未来を展望した、新たな三河港の役割や機能、運営の見直し。
- 移住希望者を呼び込む、スタートアップ支援や子育て、学び直し、職業紹介など、魅力的な環境づくり。
- アイアンマンや新アリーナを契機とした「スポーツ×観光」をコアコンテンツとした観光地域づくり。

6本の事業の柱

I. 物価高・コスト増の克服と地域経済の活力強化

《事業の柱①》 自己変革で持続的成長に挑戦する中小企業支援

- 1) 物価高・コスト増・コロナ禍の影響克服支援
- 2) 自己変革による課題解決に寄り添う伴走支援

《事業の柱②》 デジタルシフトと人材確保・育成

- 1) 加速するデジタル化への対応支援
- 2) 人材確保・活躍支援
- 3) 人材育成・雇用安定

《事業の柱③》 地域の強みを活かした産業形成・産業振興

- 1) 産学官連携・農商工医連携・広域連携
- 2) 商業・サービス業振興
- 3) ものづくり振興
- 4) 観光振興

II. 共創を軸に置いた魅力ある地域づくり

《事業の柱④》 実現性とスピード感のある政策提言・要望活動

- 1) ニーズに基づいた政策提言・要望
- 2) 実現性強化と成果の見える化

《事業の柱⑤》 界を越えた連携と共創による地域づくり

- 1) 多様な連携による共創型プロジェクトの推進
- 2) 魅力ある地域づくり、まちづくりの実現

III. 企業と地域を支える組織基盤の強化

《事業の柱⑥》 商工会議所の組織基盤・プレゼンス強化

- 1) 創立130周年事業の企画・実施〔メモリアルイヤー：令和5年3月～令和6年2月〕
- 2) 組織・財務基盤の強化
- 3) 運営体制の充実・強化

第24期(令和4年11月～令和7年10月)

【運営理念】 連携・変革・共創による地域経済の未来創生

【基本方針】 ● 新たな価値創造に立脚した課題解決により、企業と地域の持続的成長を支える

～日本・世界で最も魅力的な地域創造への挑戦～

● 組織や分野の枠組みを越えて、環境変化に適応したイノベーションを起こし、地域経済の活力向上に繋げる

● 東三河経済圏の活性化と豊橋の産業発展が表裏一体との認識に立ち、事業運営に広域連携の牽引役としての視座を持つ

【取り組みの現状】 ※下線の数値は令和5年1月末実績
一中小企業支援一
・巡回・窓口相談／ <u>1,412</u> 件
・マル経融資／ <u>10</u> 件、 <u>6,160</u> 万円
・創業支援／相談件数 <u>254</u> 件、新規創業者数 <u>14</u> 件
・事業承継相談／ <u>33</u> 件
・BSC専門家派遣／ <u>85</u> 件
・補助金申請支援／ <u>109</u> 社（採択率 65%）
・消費税インボイス制度支援／セミナー 3回、のべ参加者数 380名
一人材確保・育成・生産性向上一
・合同企業説明会等／5回開催、企業 199社、学生数 232名
・無料職業紹介所／紹介件数 <u>36</u> 名、採用人数 <u>13</u> 名
・モグジョブ（オンライン含む）／開催数 <u>27</u> 回、参加事業所数 <u>57</u> 社、参加学生数 <u>137</u> 名
・とよはし健康宣言事業所数／ <u>153</u> 件
・IT化、IoT導入支援／ <u>11</u> 件
・セミナー・講習会／ <u>22</u> 講座、 <u>467</u> 名
・パソコン教室／のべ受講回数 <u>14,517</u> 回、のべ受講者数 <u>2,349</u> 名
・ビジネスパーク（春・秋）／講師数 303名、派遣校 22校、参加生徒 3,503名
一産業振興一
・ものづくり博2022in東三河／出展者数 60社・団体、入場者数 10,500人
・東三河産業創出協議会／ものづくり支援コーディネーター設置など
・がんばろう！商店街事業「おかえり、みんな たいい、商店街」実施
・ええじゃないか豊橋まつり開催
・第27回炎の祭典～霜月炎の舞～／観覧者数 1,756人（2日間）
・“地域の絆”情報交換・商談会／申込 215社、参加 170社、商談 315件
【感染症の影響で中止した主な事業等】
・婚活パーティー、会員懇談会

I .物価高・コスト増の克服と地域経済の活力強化	【主な取り組み・達成目標】
【事業の柱①】 自己変革で持続的成長に挑戦する中小企業支援	
1) 物価高・コスト増・コロナ禍の影響克服支援	
① 苦境に立つ中小企業の事業継続・売上回復に向けた経営相談の対応強化	● コスト増や賃上げの原資確保に向けた「パートナーシップ構築宣言」の普及啓発
② 国・愛知県・豊橋市の関連支援施策の周知徹底と活用サポート	○ 宣言事業所増加件数：100件
③ 「パートナーシップ構築宣言」の普及啓発による取引適正化の推進	● 自己変革を後押しする伴走型支援の推進
2) 自己変革による課題解決に寄り添う伴走支援	○ 創業相談：300件
① 社会や市場の変化に対応した支援強化（創業起業、事業再構築、販路拡大、BCP等）	○ 事業承継・事業引継ぎ相談：60件
② M&Aや創業者とのマッチングなど、多様な事業承継による価値あるビジネスの引継ぎ支援	○ 補助金申請支援（再構築、持続化、もの補助）：130件、目標採択率：70%以上
③ 先輩経営者や専門家のメンタリング等を通じた創業者・スタートアップへの相談機能強化	
【事業の柱②】 デジタルシフトと人材確保・育成	
1) 加速するデジタル化への対応支援	
① IT企業と連携した相談体制の構築によるIT導入・デジタル活用の積極支援	● 専門家やIT企業と連携したIT導入デジタルサポートデスクを通じた課題解決・導入事例による取り組みの後押し
② 新たな市場獲得を図る海外越境EC活用支援	○ 相談支援件数：25件
2) 人材確保・活躍支援	● 子育て支援や女性活躍推進、移住促進を切り口にした人材確保支援
① 大都市圏からの移住人材をターゲットとした職業紹介の推進	○ 子育て世代や女性従業員の活躍を実現する就労環境向上事例の収集と横展開
② 学生就職情報センターやモグジョブ等による人材確保支援	○ 無料職業紹介事業におけるふるさと帰郷支援センター・各種移住相談機関等との接点強化
③ 高齢者や女性、外国人の活躍を進める企業の取り組み支援や好事例の見える化	● 大学等に進学した地元高校卒業生の学生就職情報センターへの登録促進
3) 人材育成・雇用安定	
① 事業創造や技術革新に対応できる産業人材育成に向けたリスクリテラシー推進環境の整備と事業者へのプログラム開発・推進支援	
② 変革する社会・経済を見据えたテーマによるセミナー・講習会の充実	
③ ビジネスパーク事業による将来の地域と企業を担う人材の育成	
【事業の柱③】 地域の強みを活かした産業形成・産業振興	
1) 産学官連携・農商工医連携・広域連携	
① 東三河スタートアップ推進協議会やステーションAiを通じたスタートアップの創出支援や地域外からの呼び込み	● Startup GarageやCLUE、emCAMPUSなどと連携した「農業や食」に関するスタートアップの創出や地域中小企業のイノベーションの促進
② 東三河産業創出協議会を軸とした新事業創造・マッチングの支援	● ものづくり支援コーディネーターによる技術課題の掘り起しと大学等の研究シーズとのマッチング
③ 東三河産学官金連携形成委員会をプラットフォームとした研究シーズの社会実装推進やものづくり企業の課題解決支援	○ コーディネート支援件数：20件
④ 地域の絆情報交換・商談会など、多様なネットワークを活かしたビジネスマッチングの支援	● 三遠南信、愛知県、東三河など、広域的な産業支援機関や大学のネットワークを活かした、販路開拓、取引拡大など多様なビジネスチャンスの創出につながる商談会・マッチングの展開
2) 商業・サービス業振興	○ 商談・マッチング件数：350件
① 豊橋市などとの連携によるTOYOPayを活用した域内消費喚起事業の展開	● 域内消費喚起事業における登録店舗の拡充
② 業種・業界の枠組みを越えたテストマーケティングの展開	○ 登録店舗数：1,500店
3) ものづくり振興	● アイアンマンレースへの支援内容の検討及びレース後の交流パーティー企画への協力
① ものづくり博2024in東三河の企画	
② サプライヤー企業の成長を促す技術提案型の商談会の実施	
4) 観光振興	
① ウィズコロナ時代の観光ニーズを捉えた炎の祭典の開催	
② アイアンマン70.3東三河ジャパンin渥美半島の開催協力とタイアップ事業の検討	

第24期(令和4年11月～令和7年10月)

【運営理念】 連携・変革・共創による地域経済の未来創生

【基本方針】

～日本・世界で最も魅力的な地域創造への挑戦～

- 新たな価値創造に立脚した課題解決により、企業と地域の持続的成長を支える
- 組織や分野の枠組みを越えて、環境変化に適応したイノベーションを起こし、地域経済の活力向上に繋げる
- 東三河経済圏の活性化と豊橋の産業発展が表裏一体との認識に立ち、事業運営に広域連携の牽引役としての視座を持つ

【取り組みの現状】

一調査事業一

- ・景気動向調査、中小企業景況調査、LOBO（早期景気観測）調査
- ・IT導入・デジタル化実態把握調査、外国人雇用アンケート調査

一政策提言・要望活動一

- ・浜松湖西豊橋道路、三遠南信自動車道、東三河縦貫道路、名浜道路等の整備促進
- ・三河港の整備促進
- ・設楽ダム建設促進
- ・豊橋市との政策懇談会の開催
- ・豊橋市議会との意見交換会の開催

一広域連携による地域づくり一

- ・東三河広域経済連合会／全体会議・経済フォーラム開催、(株)フェニックスと連携協定締結
- ・東三河スタートアップ推進協議会への参画
- ・DMOに移行する愛知県東三河広域観光協議会への協力
- ・三遠南信地域連携ビジョン推進会議／ビジョン推進、三遠南信サミット2022in南信州の開催

一中心市街地活性化一

- ・(株)豊橋まちなか活性化センターの事業改革

【取り組みの現状】

※下線の数値は令和5年1月末実績

- ・創立130周年記念事業／ロゴマーク・スローガンの制作、その他事業検討
- ・会員数／5,121会員・新入会員数 113件
- ・生命共済制度／加入事業所数 924社・口数 6,580口
- ・定期健康診断／利用事業所数：48社、受診者数：197名
- ・労働保険事務委託事業所数／316社
- ・公式ブログによる情報発信／投稿記事数 133回・総PV数 167,573PV
- ・会館運営等の見直し／WEB予約システム導入検討準備など

II.共創を軸に置いた魅力ある地域づくり

《事業の柱⑤》 実現性とスピード感のある政策提言・要望活動

1) ニーズに基づいた政策提言・要望

- ① 部会、委員会、巡回訪問、各種調査等を通じた意見集約
 - ② 激変する社会課題や経営環境の多様化・高度化に対応したタイムリーで実効的な要望提言の実施
- 2) 実現性強化と成果の見える化
- ① 課題解決や戦略共有に向けた行政機関、議会関係者、各種経済団体・支援機関等との対話強化
 - ② 活動成果の地域・会員へのフィードバック

《事業の柱⑥》 界を越えた連携と共創による地域づくり

1) 多様な連携による共創型プロジェクトの推進

- ① 移住・定住の促進、観光まちづくりの推進などをテーマとした、愛知県東三河総局や東三河8市町村、東三河広域連合との連携事業の展開
- ② 包括連携協定に基づいて豊橋技術科学大学と展開する社内ベンチャー・起業家育成、課題解決型プログラムの展開、中小企業の技術力・開発力の向上の取り組み強化
- ③ 三遠ネオフェニックスを運営する(株)フェニックスと連携したスポーツを活用した広域的な産業振興や観光振興、スポーツ振興、まちづくり等の展開

2) 魅力ある地域づくり、まちづくりの実現

- ① 中心市街地を核とした市域全体の魅力創造の推進
- ② 2050年カーボンニュートラルを見据えた脱炭素経営の普及啓発・実践支援
- ③ 新たな物流ニーズを見据えた三河港の役割や機能、運営のあり方に関する検討
- ④ 二川・湖西地区県境域における渋滞、広域防災対策への取り組み

【主な取り組みと達成目標】

- 会員のニーズや課題の把握手段である各種調査事業の充実及び回答率向上
- 積極的な提言・要望活動の推進
 - 物価高・コスト増（経済対策、取引適正化、需要喚起）中小企業対策・税制・規制緩和
 - 社会資本整備強靱化・地域DX・まちづくり
 - 移住定住促進に向けた教育・子育て・就労・居住・公共交通などの生活環境改善

- 東三河ビジョン協議会の「移住・定住の促進と関係人口の創出・拡大」事業への積極的な参画
- 法人化しDMOに移行する愛知県東三河広域観光協議会への積極的な参画
- 中心市街地の将来像づくりとアクションの展開
 - 豊橋まちなか未来会議による「豊橋まちなか未来ビジョン（仮称）」策定への参画
 - 駅前大通の空間整備に向けた社会実験への協力
- 脱炭素経営の普及啓発セミナーの開催及び日本商工会議所のCO₂チェックシートを活用したエネルギー排出量等の見える化の推進
 - CO₂チェックシート活用件数：200件

III.企業と地域を支える組織基盤の強化

《事業の柱⑦》 商工会議所の組織基盤・プレゼンス強化

1) 創立130周年事業の企画・実施〔メモリアルイヤー：令和5年3月～令和6年2月〕

- ① 記念式典・記念講演会の開催
- ② 新たな価値創造ニーズに対応した会員の拡大
- ③ WEB会議やプレゼン利用需要に対応した貸会議室のデジタル化

2) 組織・財務基盤の強化

- ① プレスリリース、会報誌、HP、SNS、メールマガジン、公式ブログ等による発信力強化
- ② 会員サービス向上に向けたニーズ・課題の把握、繋がり強化を目的とした会員訪問の推進
- ③ 新たなビジネス創造に繋がる進出企業と地元中小・中堅企業との交流機会の創出
- ④ 財政基盤強化（ビル運営・貸会議室、各種保険・共済制度、検定試験など）

3) 運営体制の充実・強化

- ① 部会、委員会、女性会、青年部、各種団体、事務局の活性化
- ② 魅力ある地域創造に意欲を持つ会員の参画の場づくり
- ③ デジタル活用等による事業・業務運営の生産性向上、事務局職員の資質向上

【主な取り組みと達成目標】

- 会員サービス委員会を通じ、利用メニューの見直しを図り、会員拡大を推進
 - 会員加入促進：5,400会員の実現
- 会員メリット拡充や質の高いサービス提供の原資とするため、財政基盤を強化
 - 「生命共済制度」、「ビジネス総合保険」等の加入促進
 - 予約システム導入によるビル運営の効率化、貸会議室等の設備更新・付加価値向上
- 会員訪問や部会活動等を通じた接触機会の拡充
 - 会員訪問件数：1,000会員
 - コロナ禍で見送っていた会員懇談会等の復活
- 日本YEG東海ブロック大会豊橋大会の支援